



会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 長谷川閑史
(コード番号 4502 東証第1部)
報道関係問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部
Tel 03-3278-2037

News Release

2013 年 8 月 1 日

武田バイオ開発センターの事業譲受による国内の癌領域開発体制について

当社は、本日、当社の 100%子会社である武田バイオ開発センター株式会社^{※1}(本社:東京都千代田区、以下「武田バイオ社」と、同社全事業に関する事業譲渡契約を締結するとともに、2014 年 4 月に事業譲渡を完了し、その後同社を解散することを決定しましたのでお知らせします。武田バイオ社が担っていた国内における癌領域の臨床開発業務については、2014 年 4 月以降、当社医薬開発本部が行うこととなります^{※2}。

武田バイオ社は、当社癌領域開発品の国内における臨床開発業務を担っており、同社がこれまでに開発を行った結腸癌・直腸癌治療薬「ベクティビックス®点滴静注」は 2010 年 4 月に製造販売承認を取得、悪性リンパ腫治療薬 SGN-35 は 2013 年 3 月に製造販売承認を申請しています。この他にも、卵巣癌治療薬 AMG 386、前立腺癌治療薬 TAK-700、非小細胞肺癌治療薬 motesanib diphosphate の臨床第 3 相試験など、複数の臨床試験を国内で実施しています。これらの試験は、当社医薬開発本部が担当し、継続いたします。

今回の武田バイオ社の事業譲渡ならびに同社の解散は、これまで癌領域と癌領域以外にわかれていた国内の臨床開発業務を統合し、迅速な意思決定のもと、より効率的な開発活動を推進するために実施するものであり、グローバル製薬企業として強靱で効率的なオペレーティングモデルへの転換を目指した取り組みの一環です。

※1 当社と Amgen Inc. (本社:米国カリフォルニア州サウザンドオークス、以下「アムジェン社」)は、2008 年 2 月、アムジェン社が保有していた開発品のライセンス契約を締結し、これに伴い、当社はアムジェン社の 100%子会社であるアムジェン株式会社(当時)の全株式を取得し、2008 年 4 月、同社を武田バイオ社と社名変更しました。

※2 癌領域の経験と専門性を有する日本の癌領域の開発チームは、引き続き、グローバル・オンコロジーTherapeutic Area Unit にレポートします。

＜武田バイオ開発センター株式会社の会社概要＞

- (1) 名称： 武田バイオ開発センター株式会社
- (2) 所在地： 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 丸の内永楽ビルディング
- (3) 代表者の役職・氏名： 代表取締役社長 北戸 春雄
- (4) 事業内容： 医療用医薬品の開発
- (5) 設立日： 1992 年 3 月 26 日
- (6) 資本金： 9 億 7,500 万円
- (7) 株式の種類： 非上場
- (8) 大株主および持株比率： 武田薬品 100%
- (9) 従業員数： 108 名(2013 年 7 月 1 日現在)

以上